×ヤマタカEY∃
ながらライブ」

ヤマタカEYE●おなじみ“ボアダムズ”のVo.。先頃、自身のレーベル“ショック・シティ”をスタート。“ハナタラシ”のCDや“ノイズ・ラモーンズ”のアナログ盤などを続々とリリース

定着・拡散した観の強いテクノ・シーンにおいて今なお、たった一人で音楽の革新を続ける孤高の二五歳、エイフェックス・ツイン。その突出した才能は、ドラムン・ベースを誰もマネ出来ないほど変形させた最新作『リチャード・D・ジェイムズ・アルバム』にもハッキリ現われている。そんな彼がこの一月、遂にライブ・アクトの

EYE　これ、どうぞ（EYE氏の本『NANOO』を渡す）これ、ぼくのコラージュ・ブックなんだけど。

AFX　ありがと……アハハハ、なんだこれ！

EYE　“ボアダムズ”知ってるの？

AFX　うん、ロンドンのガレージでライブやった時、見に行ったしCDも聴いてるよ。え〜と、僕らは何について話をすることになってるんだい？

EYE　何も決まってない（笑）。なんかスタジオに戦車を持ってて、レコーディングに使ってるって聞いたんですけど、どんな使い方をしてるんですか？

AFX　あ、あれね。戦車の内側では、音がリバーブをかけたみたいに反響するんだ。自然なエコーが生じて、いろんな音が録れる。付属のマシンガンだってちゃんと使えるんだよ。

EYE　ホンマに持ってんや。ボカンちゃんか。マイケル・ジャクソンみたい。マイケル・ジャクソンはライブ・ショーに戦車を使うって話やけど。

AFX　僕も使おうとは思ってたんだよ。ただ弾がなくなってね。近所のガキが勝手に戦車に入りこんで、弾をみんな盗んでいってしまったんでね。

EYE　別に撃たなくていいと思うけど……。アブないなー。その子達、爆死してないんですか？

AFX　別に問題ない。

客席にジューサー・ミキサー

EYE　いつもベッドで寝ながらライブやるの？

AFX　それほどでも……というか、ショー自体、この三年間で一〇回しかやってないしね。君は今までに何回ぐらいショーをやったの？

EYE　ライブ？　よーやるけど日本で少ない。わからん。一ケ月に二〇回とか。僕もベッドで寝ながら、ライブしながら寝るのが夢。

AFX　ハハハ（笑）。

EYE　で、あのぬいぐるみ（巻頭グラビア参照）は、あなたが着るんですか？

AFX　ああ、あのクマ？　そう（実際はWARPレコードの社長が着て踊ってた）。

EYE　あれ、やっぱクマなんか〜。前にあなたの作った二枚組サンド・ペーパーのDJセットもらって……、確か二〇〇枚限定の。

AFX　違う荒さの二枚のサンド・ペーパーをピッチ・コントロールでジョイントさせて、実際に客が見てる前でDJブースでかけて、二枚をミックスしてるふりをして遊ぶんだ。冗談みたいなもんだけど。

EYE　目の荒さが二枚それぞれ違ってて、かけてみたら違う音だった。

AFX　ポルノ写真のプリントがペーパーにくっつけてあって、違うリズムが出るようにしてあるんだ。

EYE　一方にサンド・ペーパーで、もう一方にジューサー・ミキサーで、それにレコード針を突っこんでっていうDJスタイルもやってた？

AFX　そう、ジューサー・ミキサーを回して、抱えてかけるんだ。

EYE　うわー、台所でパーティしてるみたいやん。ほんで皆、踊る？

AFX　YES。

EYE　キッチン・ダンサーズ！

AFX　初めは、客もそう乗り気じゃなかったけど、ジューサー・ミキサーを回ってるまま客席に放り投げたら、ひとりの観客の頭に刃が当たったんだ。でも、別になんてことなくて、後からそのジューサー・ミキサーにサインしてくれって頼まれたよ。

EYE　音楽を作る時、お兄さんと交信したりすることはあるんですか。（編註・AFXには亡くなった兄がいるらしい）

AFX　特に音楽を作る時とかに限らず、普段からあるよ。特に強いものじゃないんだ。言ってみれば守護天使（ガーディアン・エンジェル）とか、いつも僕を見守ってくれている存在、そういったものなんだ。

EYE　今でも一日三時間睡眠の生活？　僕、一日一八時間くらい寝る……。

AFX　一八時間!?　僕の一週間分じゃないか—

エイフェックス・ツイン
「ベッドで寝

PICS：ETHICA
通訳：鈴木千絵

ため日本にやって来た。そこで本誌では、同じくテクノを独自に解釈するアーティスト・ヤマタカEYE氏との対談を企画。様々な意味で同時代を代表するこの二人、テクノの話題はあんまり出なかったけど、もっと重要な話をしてくれたのではないでしょうか。（編集部）

エイフェックス・ツイン●イギリスはコーンウォール出身の、テクノ界最大の才能。本名はリチャード・D・ジェイムズ。アンビエントなイメージがあるかもしれないが、来日ライブでは、ハードでインダストリアルな側面が全開していた

大丈夫かい？　今、僕にはガールフレンドがいるから、そうでもないけれど、それ以前は、よく三日ぶっ続けで起きていて音楽を聴いたり、曲を作ったりしたことがよくあったよ。……好きなんだな、あの感じが……。二四時間寝ないでいると、血中にアドレナリンが溢れてきて、ますます頭が冴えてくるんだ。すごい速さで物を考えることが出来るようになる。

EYE　部屋、片付けてなさそうやなー。常に音楽を作ってるってイメージがあるんですけど（編註・AFXは曲を量産することで有名）、今回日本に来る飛行機の中でも曲を作ってたんですか。

AFX　ああ、コンピューターでね。予備のバッテリーも持ってきてあるんだ。半トラック作った。でも、機内の空気は最悪だから、集中して考えることが出来ないんだ。再循環の空気で脳がやられてしまう。……（『BUDUB』のピクチャー・ディスクを見ながら）これ、すごくいいね。僕のスタッフの一人がデザイナーで、あのぬいぐるみを作ったのも彼なんだけど。

EYE　あのクマの名前は？

AFX　ジョニー。

EYE　ジョニー！

AFX　……あ、違う。それはデザイナーだ（笑）。クマね。えーと、なんだっけ。忘れた……。

EYE　月並みな質問ですが、日本には何度も来てるみたいですけど、日本の印象はどんな感じですか。

AFX　気に入ってるよ。……日本人って、僕らと外見、容貌が全然違うだろう？　僕には日本人がエイリアンに見えるんだよ。だから、まるで別の惑星に来たみたいな感じ。日本に来る時はいつも、惑星旅行でもしてる気分になるんだ。

EYE　ホントに。そんな変わってるかな。オレ海外行っても、向こうの人全然エイリアンには見えんけどなあ。全然フツーに見える。

AFX　つまり、日本人と僕ら西洋人の顔つきが、いかに異なっているかっていうところに興味があるんだ。

EYE　実際、エイリアンに会ったことあるの？

AFX　ない。だけど是非会ってみたい。会ってセックスしたい。

EYE　体位は？

AFX　問わないよ。

EYE　ジャケのアート・ワークって自分でやってるんですか。

AFX　YES。

EYE　なんで、あんなヘンな顔のジャケットにしてるんですか。

AFX　あの方がフレンドリーだからだよ（笑）。

EYE　フレンドリーかなー……。

AFX　（『NANOO』中のマークを指して）これサイコーにクレイジーだね！

EYE　それ、からっぽの頭が、へこんでるところ。

AFX　これ、ぼくの前の作品のレーベル・デザインと全く同じだ。それはシングルだったんだけど、日本ではアルバムと一緒に入ってるから、発売されてないけど。

スタジオに水族館

EYE　このライブハウスの隣に、でっかい水族館があるんですけど（編註・大阪の「海遊館」）。

AFX　ほんとかい？　サメとかいるの？

EYE　ザバザバ泳いでる。この前ジンベイザメが死んで、みんな泣いたし。それで、あなたがリハしてた音が、そこの音と同じだった。

AFX　ホント？

EYE　水族館がBGMを流してて、それがイルカとかサメの声なんだけど、それがさっきのサウンド・チェックの音と同じだった。かなり近い。

AFX　三日前にオーストラリアで水族館に行ったんだけど、すごく良かった。大きなプールの水面下にガラス張りの展示室があって……。僕も絶対、自宅にひとつ欲しい。その中にスタジオも作るんだ。

EYE それ、すごいね。
AFX それが僕の生涯の野望と言っていい。
EYE うわ。そんでそこに戦車も置くんですか。
AFX もちろん。でも、かなり巨大なドアが必要だな。
EYE そりゃ、イルカが驚くんでは?
AFX イルカなんかいらないよ、僕は。女の子だけいればいいんだ。
EYE 女の子だけ? なんやねんそれ、シブすぎ……。スポーツとかやりますか? スケボーとか。
AFX スケボー? あれはもうやめた。生命の危険(バイオ・ハザード)を感じたからね。今はサイクリング、スイミング……僕は泳ぐのが凄く上手いんだよ。
EYE エイフェックス・スイムかぁ~。あなたに一番影響を与えていそうな音楽家とか運動選手とかっているんですか? バッハとか、モハメド・アリとか?
AFX 音楽のことは、ほんとによく知らないんだ、僕は。人の音楽を好きになるずっと前から、既に自分の音楽を作っていたからね。この五年というもの、他の人の音楽はほとんど聴いてない。まあ最近では"スクエアプッシャー"、"ワゴン・クライスト"。この二つくらい。あと"ヴィーン"かな。
EYE "ヴィーン"? オレ一緒にやった。一緒にCD作ったよ。四年位前に。まだ出てないねんけど。はじめ「"WEEN"と"EYE"を足して"WEYEN"にしよー」とかゆーとったんやけど、"Z-ROCKハワイ"ってゆーのになったみたい。"WEEN"が農場の納屋みたいなとこ……ポッドって呼んでたけど、そこにスタジオ持っとって、録音しに行った。
AFX ホント? 僕も大好きで、一緒に仕事したいと思ってるんだよ。それって何曲くらい作ったの?

この対談後に行われたAFXのライブは、彼自身にとっても「生涯で二番目に良かった」ライブだったらしい

EYE 一〇曲以上。
AFX 今の彼らは、ほとんどカントリー&ウエスタンだよね。最高。

今年はデス・メタルとクラシック

EYE 一三歳ごろに音楽を始めたって聞いたんですけど、その頃、どういう機材で、どういうレコーダーで録ってたんですか。
AFX リール・テープ。
EYE 八トラック?
AFX はじめは二トラック。それからオーバー・ダブをやってた。
EYE ピンポン? いや~、ピンポン録音サイコー。
AFX もっと後になってからは四トラック。基本的にテープとピアノ。……始めたのは一〇歳の頃だったかなあ。
EYE 一〇歳? 早い。今いくつ?
AFX 二五。君はいくつぐらいから?
EYE オレ一五歳くらいから音楽始めたけど。家の押し入れとか、トイレとかフロ場とかでラジカセ振り回しては壊すという……。あと、イギリスのバンドでオレ一番好きなのが、昔の"ナパーム・デス"ってバンドなんだけど、好きかな?
AFX 「ジョン・ピール・セッション」のやつをよく聴いてたよ。レコードは持ってなかったけど。……僕はレコードを一枚も持ってないんだ。でも、今年はデス・メタルとか、クラシックのレコードを買いまくろうと思ってる。"ナパーム・デス"は2セコンド・トラックス(一曲が二秒、メチャクチャ短い曲、の意)だったよね。
EYE そうそう、あれ聴いた時、音楽の歴史が変わったと思った、オレは。
AFX "ナパーム・デス"は、最初にヴォーカルが「ウォー!」ってスクリーミングしたグループだった。若い頃よく聴いたなぁ。エレクトロニック・ミュージック以外の音楽は嫌いだったけど、"ナパーム・デス"だけは特別だった。……君は今後の音楽活動について、何か計画はある?
EYE 何もない。「計画」という概念が、よくわからない。
AFX そう。ただ続けてやっていくだけ?
EYE そう。テキトーにやりたいねんけど……それがケッコー難しくて、結局かなりテキトーになったりして。あなたは?
AFX とにかく音楽を作り続けていくことだけ。それだけでいいんだ。
EYE 僕も。まー、音楽って音じゃなくても別にいいみたい。大昔のDNAで音作りたいなー。

(一九九七年一月三〇日、大阪・ベイサイドジェニーにて)

エイフェックス・ツインの作品

「...I CARE BECAUSE YOU DO」(1995)

RICHARD.D.JAMES ALBUM (1996)

「APHEXのライブをみて」

これでテクノは終った……そんなカッコよさとゆうかココ最近のライブで一番ガツーンと来た。見たのは「徹子の部屋」というか「リチャードの部屋」というか、会場に着くなりステージにデーンとソファーベッドをセッチしゴロリンでリハ。ライブ中は一度も立たず寝ながらライブ！ベッドルームをそのままプリーング、その前を二匹のケーコーみどり&オレンジのアフェックスくまがダンスと空手など。このクマは無秩序な亀みたいだった。アナーキー・ロンバールーム・ショー！ひっさつ右・左の部屋かたづけてなさそうな絶縁体音響に、られつがまわらなくなる、いや、ろれつがられつする、られつがまわらる、ろれるらまららなし（文・ヤマタカEYE）

AFXおすすめレコード

STOCKHAUSEN
song of the youths
/Gesang
1976

Fucking wicked

← アフェクスのリハーサル

きかい

ピンク
ベッド
ソファー

このえを見て
APXは おおわらい した
絵あり

きていきなりねころんで
きかいをセット